

定期接種 (A類疾病)

- Hib *1** (インフルエンザ菌ワクチン): Standard vaccination period from birth to 5 years.
- 肺炎球菌 *2** (13価結合型): Standard vaccination period from birth to 5 years.
- B型肝炎 *3** (水平感染予防): Standard vaccination period from birth to 5 years.
- ロタウイルス *4** (1価): Standard vaccination period from birth to 24 weeks. Options for 14 weeks or 32 weeks.
- DPT-IPV I期 *5** (DPT 期 *6 / IPV I期): Standard vaccination period from birth to 24 weeks.
- BCG**: Standard vaccination period from birth to 24 weeks.
- 麻疹・風疹混合 (MR) *7** (風疹 *7 / 麻疹 (はしか) *7): Standard vaccination period from birth to 24 weeks. Options for 12 weeks or 18 weeks.
- 水痘 *9**: Standard vaccination period from birth to 24 weeks.
- 日本脳炎**: Standard vaccination period from birth to 24 weeks. Options for 12 weeks or 18 weeks.
- DT II期**: Standard vaccination period from birth to 24 weeks.
- HPV *10** (ヒトパピローマウイルス) (2価): Standard vaccination period from birth to 24 weeks. Options for 4価.

(B定期接種)

- インフルエンザ *11**: Recommended for those aged 60 to 65.
- 肺炎球菌 *12** (23価莢膜ポリリサッカライド): Recommended for those aged 65 to 100.

臨時接種

- 新型コロナ**: Approved for use from February 21, 2022. Options include Pfizer (2価), AstraZeneca (4価), Johnson & Johnson (1価), and Moderna (2価).

接種の例

- 標準的な接種期間 (ロタウイルスワクチンについては、初回接種の推奨期間)**: Indicated by a dark red bar.
- 接種が定められている年齢**: Indicated by an orange bar.
- 接種可能な年齢 (必要がある場合のみ)**: Indicated by a pink bar.

備考

- 1962年4月2日～1979年4月1日生まれ (2022年4月1日現在、43～60歳) の男性でHI抗体値が8以下相当 *8 の者、原則MRワクチンを使用する。クーポン券使用時はMRワクチンのみ。
- 平成19年4月2日から平成21年10月1日生まれの者は生後6か月から90か月末満と9歳から13歳未満の期間内であれば定期接種として第1期の接種可能。
- 60歳以上65歳未満の者であって一定の心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害を有する者。
- 当該年度内に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる者。未接種の場合、定期接種として1回接種可能。

*接種期間は添付文書の内容を参考に作成しました（一部改変）。※※追加接種としてのみ使用。

- *1 2008年12月19日から国内での接種開始。生後2か月以上5歳未満の間にある者に行うが、標準として生後2か月以上7か月未満で接種を開始すること。接種方法は、通常、生後12か月に至るまでの間に27日以上の間隔で3回皮下接種（医師が必要と認めた場合には20日間隔で接種可能）。接種開始が生後7か月以上12か月未満の場合は、通常、生後12か月に至るまでの間に27日以上の間隔で2回皮下接種（医師が必要と認めた場合には20日間隔で接種可能）。初回接種から7か月以上あけて、1回皮下接種（追加）。接種開始が1歳以上5歳未満の場合、通常、1回皮下接種。
- *2 2013年11月1日から7価結合型に替わって定期接種に導入。生後2か月以上7か月未満で開始し、27日以上の間隔で3回接種。追加免疫は通常、生後12～15か月に1回接種の合計4回接種。接種もれ者には、次のようなスケジュールで接種。接種開始が生後7か月以上12か月未満の場合：27日以上の間隔で2回接種したのち、60日間以上あけてかつ1歳以降に1回追加接種。1歳：60日間以上の間隔で2回接種。2歳以上5歳未満：1回接種。
- *3 2016年10月1日から定期接種導入。母子感染予防はHBグロブリンと併用して定期接種ではなく健康保険で受ける。
- *4 「出生〇週後」は、生まれた日を0日として計算する。初回接種は出生14週6日後までに行う。1価で2回接種、5価で3回接種のいずれかを選択。2020年10月1日から、2020年8月1日以降に生まれた児を対象に定期接種導入。
- *5 D：ジフェリア、P：百日咳、T：破傷風、IPV：不活化ポリオを表す。IPVは2012年9月1日から、DPT-IPV混合ワクチンは2012年11月1日から定期接種に導入。回数は4回接種だが、OPV(生ポリオワクチン)を1回接種している場合は、IPVをあと3回接種。OPVは2012年9月1日以降定期接種としては使用できなくなった。DPT-IPVワクチンは、生ポリオワクチン株であるセーピン株を不活化したIPVを混合したDPT-sIPVワクチン。
- *6 2018年1月29日から再び使用可能となった。
- *7 原則としてMRワクチンを接種。なお、同じ期内で麻疹ワクチンまたは風疹ワクチンのいずれか一方を受けた者、あるいは特に単抗原ワクチンの接種を希望する者は単抗原ワクチンの選択可能。
- *8 詳細はhttps://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/rubella/Rubella-Hltiter8_Ver4.pdfを参照。
- *9 2014年10月1日から定期接種導入。3か月以上（標準的には6～12か月）の間隔をあけて2回接種。
- *10 互換性に関するデータがないため、同一のワクチンを3回続けて筋肉内に接種。接種間隔はワクチンによって異なる。平成9年度生まれ～平成17年度生まれの女性で、過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない者は、令和4年4月～令和7年3月の間、改めての接種機会あり。
- *11 定期接種は毎年1回。
- *12 2014年10月1日から定期接種導入。2019年度は、年度内に65・70・75・80・85・90・95・100歳以上になる者、2020年4月1日からは、年度内に65・70・75・80・85・90・95・100歳になる者であって、まだ未接種の者は定期接種として1回接種可能。
- *13 2021年2月14日に製造販売承認（コニナティ筋注：ファイサー社）。2月17日から接種開始。日局生理食塩液1.8mLにて希釈し、1回0.3mLを合計2回、通常、3週間の間隔で筋肉内に接種する。2021年6月1日から接種年齢が「16歳以上」から「12歳以上」に変更。2回目から3か月以上空いていれば3回目を、3回目から3か月以上空いていれば4回目を接種可能。
- *14 2022年1月21日に特例承認され、2022年1月26日の予防接種・ワクチン分科会で承認。日局生理食塩液1.3mLにて希釈し、1回0.2mLを合計2回、通常、3週間の間隔で筋肉内に接種する。2回目から5か月以上空いていれば3回目を接種可能。
- *15 2022年10月5日に薬事承認（コニナティ筋注6カ月～4歳用：ファイサー社）。10月24日より接種開始。生理食塩水2.2mLに溶解して1回0.2mLを合計3回、筋肉内に接種する。2回目は通常3週間の間隔で、3回目は2回目の接種から少なくとも8週間経過した後に接種。
- *16 2021年5月21日に製造販売承認（スパイクバックス筋注：モデルナ社）。5月22日から接種開始。希釈せず、1回0.5mLを合計2回、通常、4週間の間隔をおいて、筋肉内に接種する。2021年8月3日から接種年齢が「18歳以上」から「12歳以上」に変更。18歳以上は2回目から3か月以上空いていれば3回目を、3回目から3か月以上空いていれば4回目を接種可能。3、4回目接種は1回0.25mLを筋肉内に接種する。
- *17 2022年4月19日製造販売承認（スパイクソビッド筋注：武田ノハバックス社）。5月25日から接種開始。12歳以上に対し、希釈せず、1回0.5mLを合計2回、通常、3週間の間隔をおいて、筋肉内に接種する。追加免疫として、18歳以上は前回のSARS-CoV-2ワクチンの接種から少なくとも6か月経過した後に接種可能。
- *18 コニナティRTU筋注(2価:起源株/オミクロン株BA.1)は2022年9月12日に薬事承認、9月20日より接種開始。コニナティRTU筋注(2価:起源株/オミクロン株BA.4-5)は10月5日に薬事承認、10月13日より接種開始。追加免疫として、1回0.3mLを筋肉内に接種する。接種対象は過去に初回免疫又は追加免疫としてSARS-CoV-2ワクチンの接種歴のある12歳以上の者。前回のSARS-CoV-2ワクチンの接種から少なくとも3か月経過した後に接種可能。
- *19 2022年9月12日に薬事承認(スパイクバックス筋注[2価:起源株/オミクロン株BA.1]:モデルナ社)。9月20日より接種開始。追加免疫として、1回0.5mLを筋肉内に接種する。接種対象は過去に初回免疫又は追加免疫としてSARS-CoV-2ワクチンの接種歴のある18歳以上の者。前回のSARS-CoV-2ワクチンの接種から少なくとも3か月経過した後に接種可能。

予防接種法に基づく定期の予防接種は、本図に示したように、政令で接種対象年齢が定められています。この年齢以外で接種する場合は、任意接種として受けることになります。ただしワクチン毎に定められた接種年齢がありますのでご注意下さい。なお、↓は一例を示したものです。接種スケジュールの立て方については被接種者の体調・生活環境、基礎疾患の有無等を考慮して、かかりつけ医あるいは自治体の担当者とよく御相談下さい。